

ナショナルブランドー世界に伝える日本の心ー

能楽・河村晴久

能 転機な文化力



知って得する能についてのディープで面白いお話を、
映像を交えたわかりやすい解説でお送りいたします。
謡、舞の実演も御覧いただきます。

日時：2014年6月11日(水) 18:30～19:30

場所：東京都千代田区霞が関3-2-2
霞が関コモンゲート東館(文部科学省・会計検査院)2階東館共用ロビー

主催：文化庁、文化交流使の会、
霞が関コモンゲート管理組合 / 新日鉄興和不動産株式会社

ナショナルブランドー世界に伝える日本の心ー

能楽・河村晴久「能転機な文化力」

日時：2014年6月11日(水) 18:30～19:30

場所：東京都千代田区霞が関3-2-2

霞が関コモンゲート東館(文部科学省・会計検査院) 2階東館共用ロビー



河村 晴久 かわむら はるひさ

昭和31年生。京都市出身。同志社大学大学院文学研究科修了。

父河村晴夫、伯父河村禎二、叔父河村隆司、および13世林喜右衛門に師事。

「猩々乱」「石橋」「道成寺」「安宅勸進帳」「屋島弓流」等を披く。

平成17年度文化庁文化交流使。アメリカに一月半滞在しハーバード大学などで活動。演能のほか、大学での授業、講演、海外での講演活動も多い。平成6年のワシントンでの公演を始め、平成20年にはパリのユネスコ本部で講演、公演するなど、海外での英語による公演は40回を越える。『対訳で楽しむ謡本』(檜書店刊)解説等執筆中。

日本能楽会会員。重要無形文化財「能楽」総合認定保持者。能楽協会京都支部常議員、教育特別委員会委員。株式会社能楽舎代表取締役。同志社大学嘱託講師、近畿大学・京都光華女子大学非常勤講師、佛教大学四条センター講師。

ナショナルブランドー世界に伝える日本の心ー

文部科学省・霞が関ビル界隈の地域による文化振興として、各界の人間国宝・重要無形文化財総合指定保持者などを中心とした文化交流使の出演による日本文化の知識をより一層深化した活動。本イベントのほか、下記イベントの開催を予定しております。

2014年9月17日(水) 18時30分～19時30分

「100年前のカラクリ音楽の実演 AND 動く日本画」

杉本洋(日本画)、三橋 IKUO(演出)

2014年10月28日(火) 18時30分～19時30分

タイトル未定、今の伝統邦楽のかたちをお楽しみください。

常磐津文字兵衛(常磐津)、勝美巴湖(日本舞踊)、榎戸二幸(箏曲)

お問い合わせ：文化庁長官官房政策課文化広報係 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111(内線2810) FAX 03-6734-3811